



西浜通信

茅ヶ崎市立西浜小学校

2026年4月30日

5月号

校長 木村 千裕

学校教育目標 ～人間性豊かでたくましく 主体的に行動する児童の育成～

【学校スローガン】「自分も人も大切に“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして」

【めざす子どもの姿】 すすんでやる子 がんばる子 思いやりのある子

新しい学年・学級での1か月



満開の桜で迎えた始業式・入学式から約1か月が経ちました。始業式で初めて出会った子どもたちに「魔法の言葉」のお話をしました。

皆さんは、人を嬉しくさせたり、心を温かくさせたりする「魔法の言葉」を知っていますか。その言葉は、「ありがとう」です。

何かをしてもらったときに、「ありがとう」の言葉があると、言われた人も言った人も、笑顔になれる「魔法の言葉」です。校長先生は、「ありがとう」の言葉が、西浜小学校にいっぱい溢れたら素敵だと思っています。

でもね、頭の中で「ありがとう」って言おうと思っても、気持ちはあっても、言葉に出せない人もいます。人はそれぞれ違うから。そのことも覚えておいてください。

是非、ご家庭でも魔法の言葉「ありがとう」を溢れさせてください。

毎朝、私は正門前の横断歩道で子どもたちの登校を見守っています。「おはようございます」と私が声をかけると、元気に「おはようございます」と言葉を返してくれる子、言葉に出すことはできないけれど、心の中で「おはようございます」と言ってくれる子など様々な姿を見せてくれています。一人ひとりの様子を見ていると、学年があがり新たな学級という環境、1年生は新たな小学校という環境にたくさんのエネルギーを使っていることが感じられます。我々大人であっても、環境が変わった時には、不安をもち戸惑いながらも慣れるためにたくさんのエネルギーを使いますので、子どもたちは尚更です。



帰宅後や週末には、子どもたちのエネルギーを回復させていただくよう、「不安だっただね」など、子どもの気持ちに寄り添い受け止め、大丈夫という安心感を回復させていただき、エネルギーを補給しなおしてあげてください。よろしくお祈りします。



4月21日(火)は、1年生にとって初めての給食。メニューは「ごはん・牛乳・麻婆豆腐・春雨スープ」でした。食べるだけでなく、準備から片付けまで、すべて初めての体験です。食事を終えた後、6年生が駆けつけてくれ、食器や牛乳パックの片付け方を1年生に教えてくれました。優しく頼りになる最上級生です。6年生の皆さん、これからもよろしくお祈りします。